

一関工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	総合英語ⅡB (会話)	
科目基礎情報							
科目番号	0023			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	未来創造工学科 (一般科目)			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	Technical English 1 Second Edition						
担当教員	下川 理英						
到達目標							
教育目標 A				学生が英語を学ぶことに熱意を持ち、能動的に			
継続して4技能の技術修練にやる気を持つようになることが望まれる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 Speaking, reading (pronunciation, intonation, sense groups) 話す、読む (発音、抑揚、同義語)	appropriate 適切である			mostly appropriate ほぼ適切である		needs more practice 修練が必要である	
評価項目2 Listening (understanding and responding appropriately) 聞く (理解力、的確な対応力)	satisfactory 充分である			developing 発達途中である		needs more practice 修練が必要である	
評価項目3 Writing (grammar, vocabulary) 書く (文法、語彙)	accomplished 熟達している			capable 有能である		needs more practice 修練が必要である	
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 A							
教育方法等							
概要	The purpose of this class is to practice communication skills by using listening, reading, writing and speaking excercises and activities. この授業の目的は、聞く・書く・話す例題やアクティビティを使いながら、コミュニケーションの技術の修練をすることです。						
授業の進め方・方法	Prepare for the lesson beforehand and during the lesson, actively participate in conversations. After the lesson, review what has been presented and do the homework that has been given as extra practice. 授業の準備を事前に行い授業中は積極的に参加する。授業後には行われた内容を見直し、追加の修練の為のホームワークを行う。						
注意点	Prepare for the lesson beforehand and after the lesson, review and practice what has been presented.It is hoped that the students will be enthusiastic about studying English and that they will be motivated to continue practicing their skills. 予習と復習を行い、授業で行われた内容を確認、修練すること。学生が英語を学ぶことに熱意を持ち、能動的に継続して英会話の技術修練するやる気を持つようになることが望まれる。 【評価方法・評価基準】 試験結果 (90%)、授業態度 (10%) で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。下記到達目標に示された項目に関する理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Unit 5 Flow		Solar water heaterおよびdElectrical circuitに関する英語表現を学ぶ		
		2週	Unit 5 Flow		Cooling systemを英語で学ぶ		
		3週	Unit 5 Flow		流体関係の表現法を学ぶ (Unit 5のまとめ)		
		4週	Unit 6 Materials		製品の原料・材料を英語で表現できるようにする ジムでの運動を英語で表現する方法を学ぶ		
		5週	Unit 6 Materials		製品の原料・材料に関する英語でのやり取りを学ぶ		
		6週	Unit 6 Materials		製品のオーダーを英語で出来るようにする		
		7週	Review Unit C		Unit 5と6の復習をする		
		8週	中間試験		Unit 5と6の内容を理解しているか測る		
	4thQ	9週	Unit 7 Specifications		Specifications (仕様書) の表現法を学ぶ		
		10週	Unit 7 Specifications		英語での数量の表現を学ぶ		
		11週	Unit 7 Specifications		事業計画書を聞いて内容を理解する		
		12週	Unit 8 Reporting		英語での状況説明を聞いて正しく理解する		
		13週	Unit 8 Reporting		問題やアクシデントが起きたときの対処方法に関する英語表現を学ぶ		
		14週	Unit 8 Reporting		過去の出来事について英語で会話ができるようにする		
		15週	Review Unit D		Unit 7と8の復習をする		
		16週	学年末試験		Unit 7と8の内容を理解しているか測る		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0